

藤原清衡の四男清綱が志波郡比爪(現紫波町赤石)に本拠を構え、居住地の地名を名字とし「樋爪氏」を称した。奥六郡に同族を分置しなかった清衡にしては特別の配置である。

—岩手県市町村地域史シリーズ24「紫波町の歴史」河村迪雄著—

## 《《《 2～3月行事予定のお知らせ 》》》

2月20日 (水曜日)	第39回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：桜井芳彦 テーマ：比爪館の発掘調査(四)
3月10日 (日曜日)	第3回研修旅行	集合時間：午前9時(午後4時解散予定) 集合場所：赤石公民館 研修箇所：県立図書館～県立博物館～盛岡遺跡 学び館～県立埋蔵文化財センター 参加費(交通費・入館料)：1,000円程度 ※ 参加者数により多少の変動があります。 ※ 昼食代は各自負担となります。 参加申込：赤石公民館内 懇話会事務局 電話/FAX 676-3999 申込期限：平成25年2月20日(水)
3月20日 (水曜日)	第40回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：(未定)

※ 平成24年度の最後の事業となる第3回研修旅行は、研修先で通常は入れない場所も見学するなど、その仕組みと活用方法等について楽しく学ぶことができます。配車の都合上、必ず期限厳守で申し込んでください。

### —?—?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—?—

### Part 9

#### (8) 樋爪一族の運命(つづき)

頼朝が対面したが、老齢の俊衡を見て哀れを催し家臣の八田知家に預けた。俊衡は法華経を読誦(どくしょう)するほか一言も発しない。知家も仏教を崇敬していたので感銘を受けた。知家は頼朝に、俊衡が法華経を転読(一部を読み、パラパラと経をめくる所作)する様を報告した。頼朝も処置に困って俊衡領地の安堵を命じた。」

ということで、俊衡はお咎めなしで所領を安堵されたわけです。一説では大莊厳寺に居住し、主君である泰衡の子の秀安を育て、の

ちに自分の娘を妻にさせたと伝えられています。

吾妻鏡やその他の史料から、他の一族の行方を調べてみると、俊衡の弟である五郎季衡は宇都宮社に、その子の新田冠者(かじゃ)経衡は相模(さがみ)に、俊衡の長男である太田冠者師衡(もろひら)も同じ相模に、その子家衡は三重に、俊衡の次男である樋爪次郎兼衡は駿河(するが)に、その子助衡は栃木県都賀(つが)郡に、俊衡の三男である河北冠者忠衡は、季衡と同じ宇都宮社に、それぞれ配流されています。(次号につづく)

# 町の史跡の重要性学ぶ

## 赤石地区懇話会 熊谷盛岡大教授が講演

赤石地区ひづめ館懇話会（高橋敬明会長）がこのほど、紫波町日詰駅前1丁目の赤石公民館で行われた。同日は第9回定期講演会で、熊谷常正盛岡大学文学部教授を招いて開催。同会員や町内外の住民ら35人が参加し、



講演した熊谷教授

同町の数多く残る史跡の重要性、町における歴史的文化的の位置付けなどについて学んだ。熊谷教授は「紫波の遺跡をめぐる人々、比爪館と文化財保護」と題して講演。比爪館や志波城について研究した石川啄木の友人の小笠原迷宮（本名謙吉）や高橋白命（本名常八）を紹介。小笠原氏の紫波郡内の史跡に対する考えに触れた。ほかに熊谷氏は文化財保護の視点から、同町に数多く残る史跡の重要性について述べた。「明治時代は学者

戦後は行政、現在は住民と文化財の保護主体は変わってきている」と話す。同町には源頼朝公との結びつきが深い陣ヶ岡遺跡がある。ほかにも

### ◎ 樋爪館関連資料集第2号が完成しました！！

平成23年1月に発行した会員発表資料集に続く第2号（A4判98頁）が完成しました。

内容は平成22年度月例会で会員が発表した資料「覺王寺と大日堂」「陣が岡の28万騎」「南日詰遺跡の発掘調査」「山道・海道と北上川」など23篇です。

紫波町図書館や紫波町内の地区公民館そして県立図書館等で閲覧できます。非売品ですが、賛助会員には頒布していますので詳細は下記にお問い合わせください。

電話 019-676-3999  
携帯 090-3125-3776



小笠原迷宮



高橋白命

全国で初めて、完全な形で発見された縄文時代の環状集落「西田遺跡」も存在する。熊谷氏は「今後のまちづくりにおいて、同町における史跡の位置付けの仕方が重要となる」と指摘。「歴史的に貴重な遺跡をしっかりと保護していく方法を取り入れなければならぬ。紫波町に残る史跡は県や国レベルといっても過言ではない。特に陣ヶ岡は頼朝を源氏の棟梁、征夷大將軍にならしめた地。この地域に現在住んでいる人たちにどう大切なのかを皆さんに考えてほしい」と講演を締めくくった。

### ボランティアガイド 樋爪館跡の道案内人

本年度からスタートしました。

日程・コース等ご相談に応じますので事前にお問い合わせください。

090-3125-3776(高橋)

### 赤石地区ひづめ館懇話会 会員募集中

会費 年額 1,000円

主旨に賛同する方は、どなたでも歓迎。申込は、赤石公民館内の事務局まで。

019-676-3999